

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第18週 (4/27-5/3) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	18週	17週	16週	15週
小児科	15	18	18	18
眼科	4	5	5	5
インフルエンザ*	22	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	4/27-5/3	4/20-4/26	4/13-4/19	4/6-4/12	4/20-4/26
			18週	17週	16週	15週	17週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	1
	咽頭結膜熱		1	1	0	0	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		6	8	11	23	78
	感染性胃腸炎		16	17	13	19	100
	水痘		1	1	0	0	14
	手足口病		0	3	0	0	3
	伝染性紅斑		0	1	1	2	3
	突発性発しん		3	12	10	9	31
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	1
	流行性耳下腺炎		0	1	4	0	5
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		1	1	1	2	6
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		1	0	0	2	6
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	1
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	2
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(9件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	画像診断	梅毒	男性	20歳代	血清抗体の検出
結核	男性	80歳代	病原体等の検出	新型コロナウイルス感染症	男性	50歳代	病原体遺伝子の検出
腸管出血性大腸菌感染症	女性	30歳代	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認		男性	60歳代	
腸チフス	男性	10歳代	病原体の分離・同定		男性	80歳代	
					女性	80歳代	

・第18週は、結核2件(56)、腸管出血性大腸菌感染症1件(3)、腸チフス1件(2)、梅毒1件(8)、新型コロナウイルス感染症4件(95)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第18週のコメント

過去10年の同時期と比べて全て平均未満となっている。

<トピック>

<新型コロナウイルス感染症>

・発生届

第18週は4件の届け出があり、合計は95件となりました(図1-1)。

性別では男性が58名(61.1%)、女性が37名(38.9%)で、年齢層は0歳から90歳代まで、年齢中央値は全体で50.7歳で、男女共にほぼ同様となっています。年齢階級別では40歳代及び50歳代(共に22名:23.2%)、20歳代(14名:14.7%)の順に多くなっています。男性は40歳代~50歳代の年齢層が占める割合が多いことに対して、女性は20歳代~40歳代の占める割合が多くなっています(図1-2及び表1)。

居住地別では、中央区(20名:21.1%)、稲毛区(18名:18.9%)、美浜区(14名:14.7%)の順で多くなっています(図1-3及び表2)。

症状は、発熱(76名:80.0%)、咳(41名:43.2%)、味覚障害(20名:21.1%)の順で多くなっています(図1-4)。現時点での主な症状を年齢階級別で見ると、発熱は10歳代を除く全ての年齢階級で発症の割合が高く、咳は10歳代と90歳代を除く年齢階級で発症の割合が約半数となっています。味覚障害は10歳代において発症の割合が最も高くなっています(図1-5-1~3及び表3)。

図1-1 発生届状況

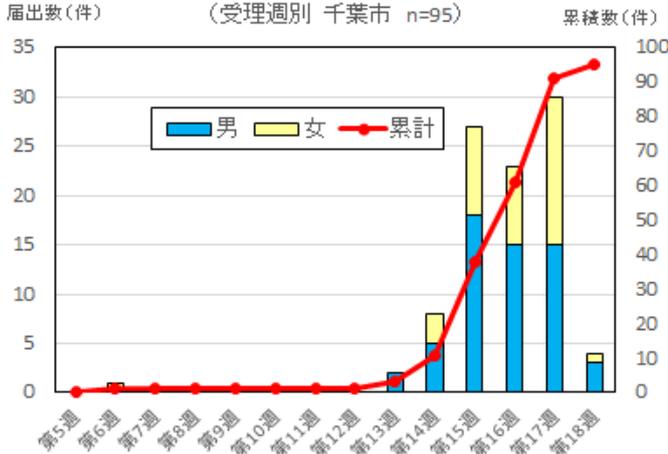


図1-2 発生届状況

(性別及び年齢階級別 千葉市 n=95)

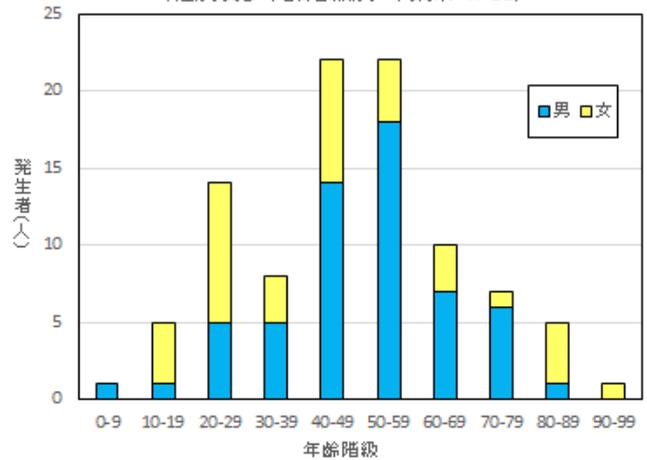
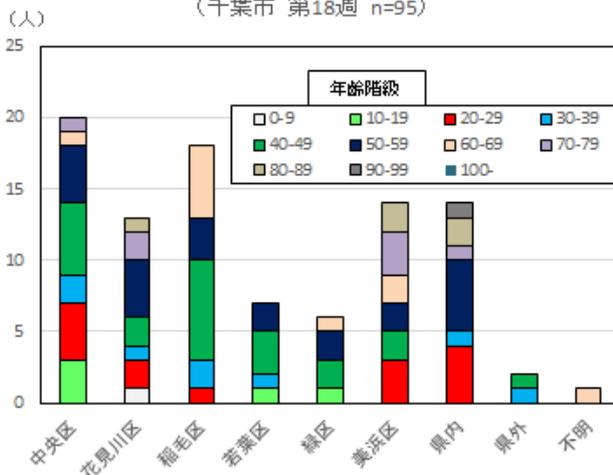


図1-3 居住地別及び年齢階級別

(千葉市 第18週 n=95)



中央値	50.8	50.7	50.7	
年齢層	男	女	計	
0-9	1	0	1	1.1%
10-19	1	4	5	5.3%
20-29	5	9	14	14.7%
30-39	5	3	8	8.4%
40-49	14	8	22	23.2%
50-59	18	4	22	23.2%
60-69	7	3	10	10.5%
70-79	6	1	7	7.4%
80-89	1	4	5	5.3%
90-99	0	1	1	1.1%
100-	0	0	0	0.0%
計	58	37	95	100.0%
	61.1%	38.9%	100.0%	

表1 性別及び年齢階級別

年齢層	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	県内	県外	不明	計
0-9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10-19	3	0	0	1	1	0	0	0	0	5
20-29	4	2	1	0	0	3	4	0	0	14
30-39	2	1	2	1	0	0	1	1	0	8
40-49	5	2	7	3	2	2	0	1	0	22
50-59	4	4	3	2	2	2	5	0	0	22
60-69	1	0	5	0	1	2	0	0	1	10
70-79	1	2	0	0	0	3	1	0	0	7
80-89	0	1	0	0	0	2	2	0	0	5
90-99	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
100-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	13	18	7	6	14	14	2	1	95
%	21.1%	13.7%	18.9%	7.4%	6.3%	14.7%	14.7%	2.1%	1.1%	100.0%

表2 居住地別及び年齢階級別

図1-4 症状別(重複あり)

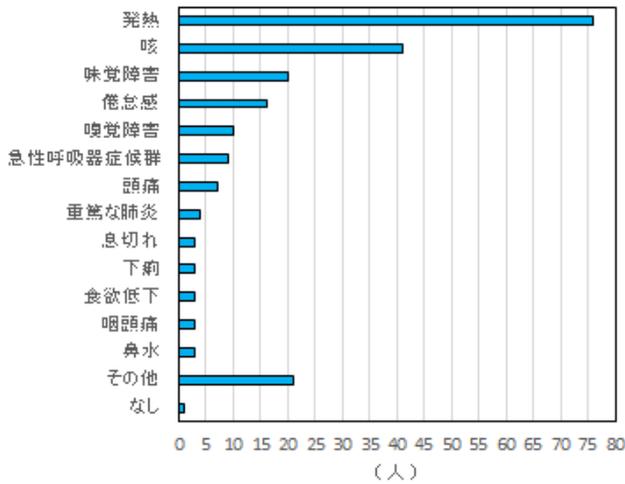


図1-5-1 年齢階級別の症状:発熱

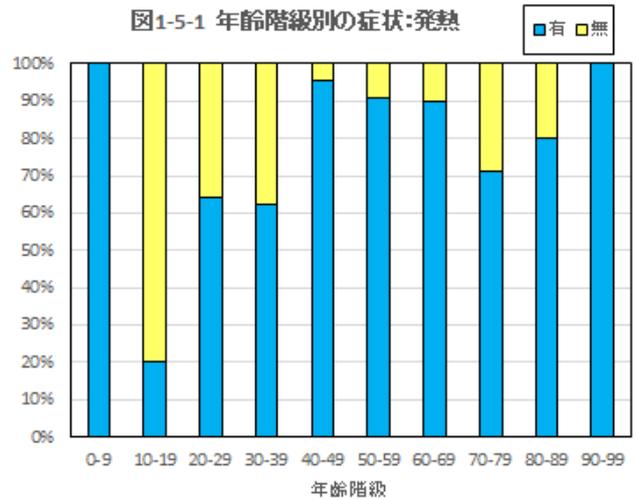


図1-5-2 年齢階級別の症状:咳

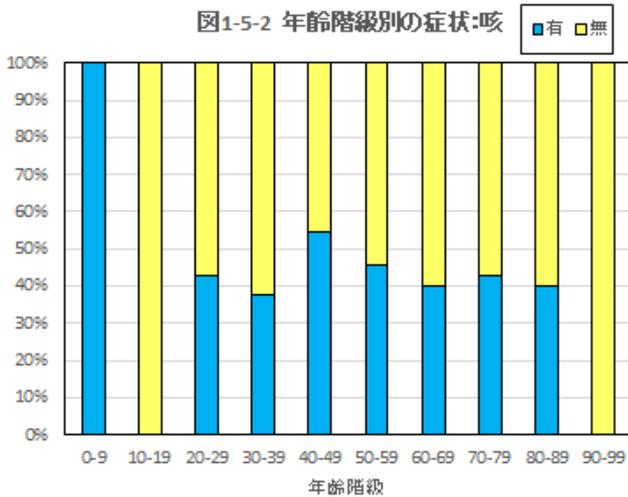
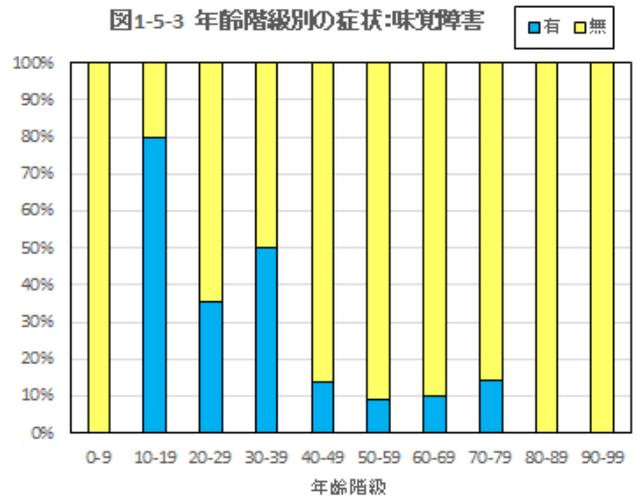


図1-5-3 年齢階級別の症状:味覚障害



年齢層	発熱	咳	味覚障害	倦怠感	嗅覚障害	急性呼吸器症候群	頭痛	重篤な肺炎	息切れ	下痢	食欲低下	咽頭痛	鼻水	その他	なし
0-9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10-19	1	0	4	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0
20-29	9	6	5	1	1	1	2	0	0	2	0	2	0	4	0
30-39	5	3	4	0	2	1	1	0	2	0	1	0	1	1	0
40-49	21	12	3	2	4	2	0	0	1	0	0	0	0	3	1
50-59	20	10	2	5	2	3	2	1	0	0	0	0	1	5	0
60-69	9	4	1	3	0	1	1	1	0	1	2	0	1	3	0
70-79	5	3	1	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
80-89	4	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0
90-99	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有	76	41	20	16	10	9	7	4	3	3	3	3	3	21	1
無	19	54	75	79	85	86	88	91	92	92	92	92	92	74	94
発生率	80.0%	43.2%	21.1%	16.8%	10.5%	9.5%	7.4%	4.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	22.1%	1.1%

表3 症状別(重複あり)

・ウイルス検査

千葉県環境保健研究所では、2020年第18週(2020年5月3日時点)までに2394例(検体数2575)について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は2153例(うち陰性化確認等165例)となっており、この他クルーズ船関連事例191例(うち陰性化確認126例)、その他陰性化確認等50例の検査を実施しました。

そのうち、陰性化確認等165例を除いた市中感染・輸入例疑い事例1988例(検体数2118)について(図2-1)は、陽性は96例(陽性割合:4.83%(96/1988)でした(図2-2)。陽性96例のうち、男性は58名(60.4%)、女性は38名(39.6%)で、年齢階級別では、40歳代及び50歳代(共に22名:22.9%)、20歳代(14名:14.6%)の順で多くなっています(図2-3)。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査数

(千葉県:5月3日現在 n=1988)

(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)

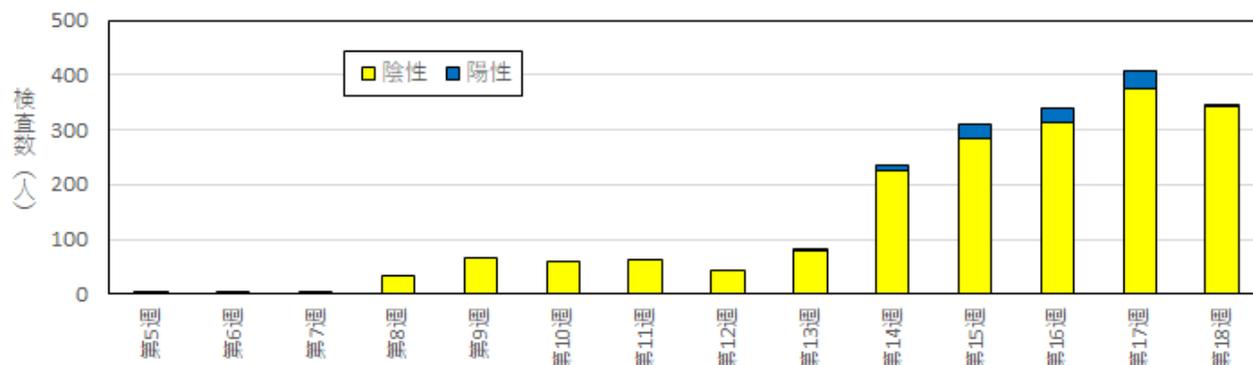


図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例PCR検査状況

(年齢階級別 千葉県:5月3日現在 n=1988)

(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)

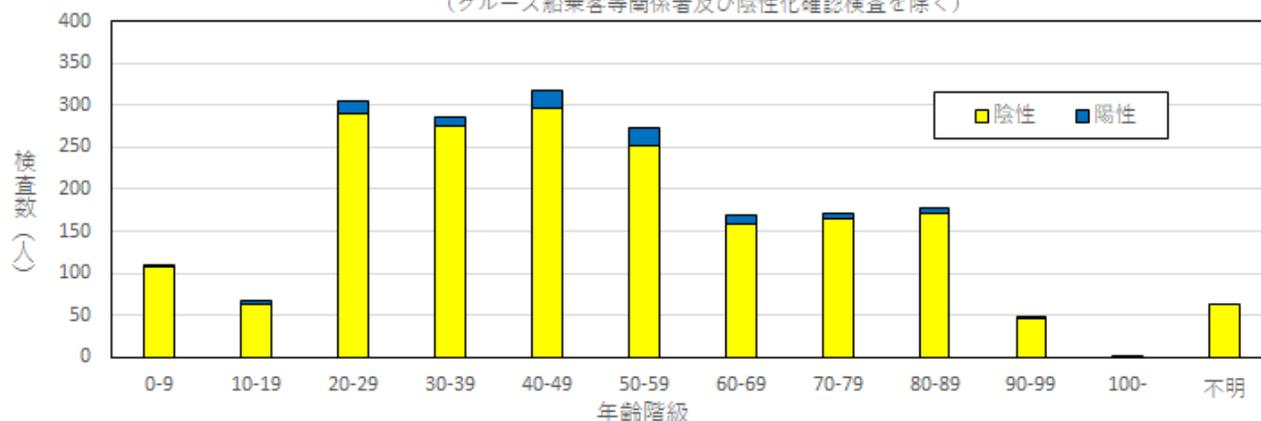


図2-3 新型コロナウイルス感染症市中陽性者

(性別及び年齢階級別 千葉県 5月3日現在 n=96)

